

令和7年度 西岡北小学校「学ぶ力」育成プログラム


学校番号：25021

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	課題
<p>これまでの 成果</p> <p>【児童アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「自分の目標をもってやり遂げようとする」「分からないことそのままにしない」という点について、学習への前向きさが見られる。 ◇人の意見を聞いて自分の考えを見直そうとする児童も多い。 ◇学びを振り返る場を重視して実践を積み重ねたことにより、自己の成果を実感する児童が増えている。 	<p>課題</p> <p>【教職員アンケートより】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自分が思っていることや感じたこと伝えようとする児童を増やしたい。 ◇意見を伝えるにあたり、その内容や理由、順番等を考えて話すことができるよう育成する必要がある。 ◇学習の見通しをもち、計画的に学習を進めることのできる主体性を育むことも課題として挙げられる。
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の共通指標の「自分が必要とされていると感じる」等の相互承認に関連する項目に関わり、自己有用感が高まる授業に努めている。主体的に判断することや、自ら課題を見出し、その解決を目指す過程で他者と協働しながら新たな価値を創り出していくことが求められる。子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びが、協働を通して磨かれることを通して、子どもが自らをアップデートできることを大切にしていく必要がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

子どもが意思をもって楽しく学び続ける力

取組	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
	<p>◇研究副主題「子どもが意志をもち、楽しむことができる授業」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> →子どもが自分ごととして学びを捉え、対話によって思考を再構築できる授業を実践し、自ら学びを進める姿勢を育む。 →自己決定・試行錯誤ができる個別探究の場の充実 →考えの練り合いがあり、見方・考え方が多様化・多角化される協働的な学び合いの場の充実 <p>◇主体的に学びに向かう姿につながる「振り返り」の充実</p> <p>◇「西北スタンダード」として、「話す・聞く・書く」の基本の学び方を設定・共通理解</p> 	<p>◇多様な見方・考え方により主体的・協力的に臨む姿勢の支持・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> →学習や行事、児童活動・学級活動を通じて育む。 ～児童の学ぶ力を育む研究実践 ～諸活動の計画・実施時の、児童同士の関わり合いの場の設定。 ～互いを評価を伝え合う取組（メッセージ交換等） <p>◇小中一貫した教育グランドデザインの実現の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> →子どもの自己実現をパートナー校とともに目指す。 ・代表委員会を中心とした自主的な活動の推進 ・西岡北中生徒会や西岡小児童会との情報交流と活動報告 

〈本プログラムの実行に向けて〉

